

# デザイン経営による イノベーション創出及びブランド構築の促進

平成31年3月

特許庁

# 「デザイン経営」宣言

## ■ 「産業競争力とデザインを考える研究会」の開催（2017.7.5～2018.5.21 全11回）

デザインによる我が国企業の競争力強化に向けた課題を整理し、その対応策について検討。



## ■ 研究会報告書の公表（2018.5.23）

- ・「デザイン経営」宣言
- ・別紙 産業競争力の強化に資する今後の意匠制度の在り方
- ・別冊 「デザイン経営」の先行事例

<http://www.meti.go.jp/press/2018/05/20180523002/20180523002.html>

「デザイン経営」宣言

経済産業省・特許庁  
産業競争力とデザインを考える研究会  
2018年5月23日

# 『「デザイン経営」宣言』報告書別冊『「デザイン経営」の先行事例』の公表

- 平成30年5月23日に経済産業省及び特許庁が発表した『「デザイン経営」宣言』の報告書において、デザイン経営を取り入れて成功している企業の事例集を上記別冊報告書として公表。

## デザインが経営にもたらす価値

p.1-2

「デザイン経営」は、ブランド力を向上する。

「デザイン経営」は、イノベーション力を向上する。

## 「デザイン経営」の特徴

p.3-6

「デザイン経営」では、デザイナーが最上流から参画する。

「デザイン経営」では、ウォーターフォール型からアジャイル型へ移行する。

デザイナーは、顧客の潜在ニーズの発見を主導する。

デザイナーは、コトバにならないものをカタチにする。

## 「デザイン経営」の推進

p.7-9

デザイン責任者が、経営チームに参画する。

経営層のデザインリテラシーを高める。

デザイン投資のKPIを工夫する。

## デザイン人材の育成・活用

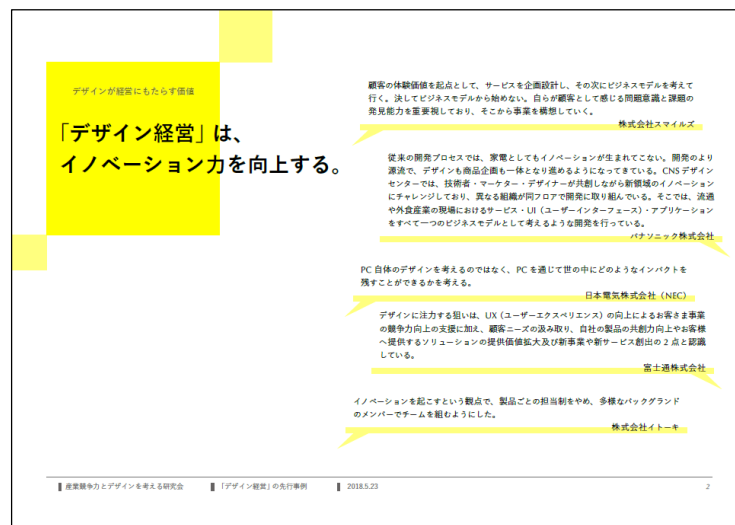
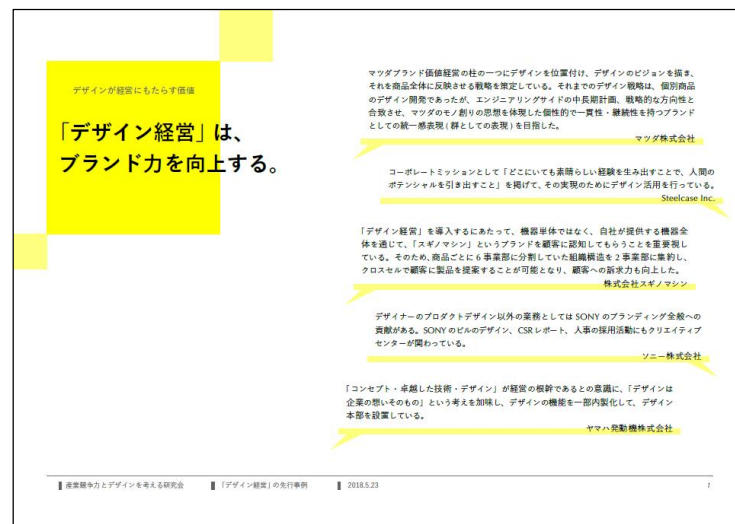
p.10-13

デザイナーの採用は、美大卒だけではない。

デザイナーは育成できる。

外部のデザインリソースを活用する。

社員のデザインマインドを向上させる。



# 第9回日中韓デザインフォーラム～デザイン経営と意匠制度の未来～の開催

- デザイン経営を実践するグローバル企業や意匠制度を所管する官庁が講演を行うとともに、「デザイン経営と意匠制度の未来」をテーマにパネルディスカッションを実施。

## 第9回日中韓デザインフォーラム概要

- **開催日**：平成30年5月24日
- **開催場所**：ホテルニューオータニ
- **参加者数**：約250名
- **講演者**：  
マツダ／前田氏（日）、小西美術工藝社／アトキンソン氏（日）、  
良品計画／松崎氏（日）、サントリーホールディングス／竹本氏（日）、  
ハイアール／呉氏・江氏（中）、元LGElectronics／チャ氏（韓）、  
日本国特許庁、中国国家知識産権局、韓国特許庁
- **パネルディスカッション司会**：A.T.カーニー／梅澤氏
- **パネルディスカッション討論者**：  
ラクスル／松本氏（日）、ハイアール／呉氏（中）、元LGElectronics／チャ氏（韓）



# デザイン経営に関する取組のメディア掲載・イベント登壇

- 経営層がアクセスするメディアへの掲載、及びイベントでの講演等により、デザイン経営の普及啓発を精力的に実施。

## メディア掲載 (主なものを抜粋)

メディア	記事見出し
日経デザイン 2018年7月号	経済産業省・特許庁が「デザイン経営」の推進を宣言
NewsPicks 2018年7月28日	「デザイン経営宣言とは何か」【宗像×梅澤】特許庁、デザイン経営への挑戦
AXIS 2018年10月号	田川欣哉のBTCトークジャム ゲスト：宗像直子（特許庁長官）
宣伝会議 2018年12月号	産業競争力の向上に不可欠 「デザイン経営」役割とは？
Forbes Japan 2019年2月号	「ユーザー視点」で生まれ変わる！ 特許庁実践のデザイン経営

## イベント登壇 (主なものを抜粋)

イベント	開催概要
「デザイン経営」宣言カンファレンス	2018年6月13日、7月13日 参加者数：各回約100名 主催：日本デザイン振興会
デザインと経営を繋ぐ「デザイン経営」宣言	2018年12月6日 参加者数：約100名 主催：UI Crunch
デザイン×ビジネスで社会課題を解決する ーダイソンが実践する「デザインエンジニアリング」とは？ー	2019年3月1日 参加者数：約50名 主催：Business Insider Japan編集部（共催：ダイソン）

# 「高度デザイン人材育成の在り方に関する調査研究」の実施（経産省）

- 経済・社会のグローバル化や情報通信技術等の急速な進歩により、既存のビジネスモデルの転換が必要になる中、産業界は、あるべき未来を構想し、事業課題を創造的に解決する「高度デザイン人材」を求めているが、国内においては十分な育成ができていない。
- 国内外の先進事例調査や、有識者で構成された「高度デザイン人材育成研究会」での検討を踏まえ、産業界及び大学等において高度デザイン人材を育成するためのガイドライン（カリキュラム案や具体的な人材像等）を2018年度内に取りまとめ、その後、公表予定。

## 「高度デザイン人材育成研究会」委員構成

- 岩佐 浩徳 株式会社リクルートコミュニケーションズ 専門役員
- 上田 義弘 富士通デザイン株式会社 代表取締役社長
- 江渡 浩一郎 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員
- 田村 大 株式会社リ・パブリック 共同代表
- 長谷川 敦士 株式会社コンセント 代表取締役社長【座長】
- 丸山 幸伸 株式会社日立製作所 研究開発グループ  
東京社会イノベーション協創センタ 主管デザイナー
- 山崎 和彦 学校法人千葉工業大学 教授
- 鷺田 祐一 国立大学法人一橋大学 教授

## 「高度デザイン人材育成研究会」



# 知財功労賞の表彰

- 世界に通じる優れたデザインを生み出した人材や、デザイン経営を確立した企業であって、知的創造サイクルの実践に寄与した者に対し、2019年度から知財功労賞を表彰する。

## 知財功労賞

知的財産権制度の発展及び普及・啓発に貢献のあった個人や、制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献のあった企業等に対して、経済産業大臣表彰及び特許庁長官表彰を行う。「発明の日」（4月18日）に毎年表彰。

優れたデザインを生み出し、  
知的創造サイクルの実践に寄与した

**人材**

デザイン経営を確立し、  
知的創造サイクルの実践に寄与した

**企業**